

発熱時の対応

登園を控えるのが望ましい場合	保護者への連絡が望ましい場合
<p>○24 時間以内に 38℃以上の熱が出た場合や、又は解熱剤を使用している場合。</p> <p>○朝から 37.5℃を超えた熱があることに加えて、元気がなく機嫌が悪い、食欲がなく朝食・水分が取れていない等全身状態が不良である場合。</p>	<p>○38℃以上の発熱があり、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気がなく機嫌が悪いとき ・咳で眠れず目覚める時 ・排尿回数がいつもより減ってきているとき ・食欲がなく水分が摂れないとき <p>※熱性けいれんの既往児が 37.5℃以上の発熱があるときは医師の指示に従う</p>

下痢の時の対応

登園を控えるのが望ましい場合	保護者への連絡が望ましい場合
<p>○24 時間以内に複数回の水様便がある、食事や水分を摂るとその刺激で下痢をする、下痢と同時に体温がいつもより高いなどの症状がみられる場合。</p> <p>○朝に排尿がない、機嫌が悪く元気がない、顔色が悪くぐったりしているなどの症状がみられる場合。</p>	<p>○食事や水分を摂るとその刺激で下痢をするとき</p> <p>○腹痛を伴う下痢があるとき</p> <p>○水様便が複数回みられる</p>

嘔吐の時の対応

登園を控えるのが望ましい場合	保護者への連絡が望ましい場合
<p>○24 時間以内に複数回の嘔吐がある、嘔吐と同時に体温がいつもより高いなどの症状がみられる場合。</p> <p>○食欲がなく、水分も欲しがらない、</p>	<p>○複数回の嘔吐があり、水を飲んでも吐くとき</p> <p>○元気がなく機嫌、顔色が悪いとき</p> <p>○吐き気が止まらないとき</p>

<p>機嫌が悪く元気がない、顔色が悪くぐったりしているなどの症状がみられる場合。</p>	<p>○腹痛を伴う嘔吐があるとき</p> <p>○下痢を伴う嘔吐があるとき</p>
--	---

咳の時の対応

登園を控えるのが望ましい場合	保護者への連絡が望ましい場合
<p>○夜間しばしば咳のために起きる、ゼイゼイ音、ヒューヒュー音や呼吸困難がある、呼吸が速い、少し動いただけで咳が出るなどの症状がみられる場合。</p>	<p>○咳があり眠れないとき</p> <p>○ゼイゼイ音、ヒューヒュー音があるとき</p> <p>○少し動いただけでも咳が出るとき</p> <p>○咳とともに嘔吐が数回あるとき</p>

発疹の時の対応

登園を控えるのが望ましい場合	保護者に連絡し、受診が必要と考えられる場合
<p>○発熱とともに発疹のある場合</p> <p>○感染症による発疹が疑われ、医師より登園を控えるよう指示された場合</p> <p>○口内炎がひどく食事や水分が摂れない場合</p> <p>○発疹が顔面等にあり、患部を覆えない場合</p> <p>○浸出液が多く他児への感染の怖れがある場合</p> <p>○かゆみが強く手で患部を掻いてしまう場合</p>	<p>○発疹が時間とともに増えたとき</p> <p>・麻疹・手足口病・突発性発疹・風疹・溶連菌感染症・伝染性紅斑・水痘</p> <p>※食物摂取後に発疹が出現し、その後、腹痛や嘔吐などの消化器症状や、息苦しさなどの呼吸器症状が出現してきた場合は、食物アレルギーによるアナフィラキシーの可能性があり、至急受診が必要となります。</p>